

## 「新大分スタンダード」に基づく授業改善

[取組事例]佐伯市立米水津中学校、生徒数42名、佐伯教育事務所管内

## ポイント

教科毎の結果分析とともに、「中学校学力向上対策3つの提言」に基づく生徒による授業評価を実施し、改善の方向性を具体的にして授業改善を充実

## 1. 取組の内容

## (1) 授業評価項目の選定

- 生徒に付けたい力と「新大分スタンダード」を基に授業評価項目を選定している。

生徒による授業評価項目	
1	先生は学習規律を重んじて授業を進めてくれていますか。
2	先生は毎回、授業の目標、一時間の流れを伝えてくれていますか。
3	先生の問いかけ、指示は短く、分かりやすいですか。
4	板書は「ていねい」でわかりやすく、まとめられていますか。
5	自分の意見や考えを持ち、「話し合い」や「発表の機会」の多い授業になっていますか。
6	先生は毎回、授業の「まとめ」と「振り返り」をしてれていますか。
7	先生は生徒の「考え」や「活動」、「頑張り」を認めていますか。
8	授業で「分かった」「できた」という達成感、満足感がありますか。
自由記述（授業の感想、要望）	

## (2) 授業評価の分析

- 生徒による授業評価を数値化して、分析している。

1学期 生徒評価 集計結果		アンケート項目																
		◎		○		△		▼										
		1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	1年	2年	3年	計	
国 語	1	先生は学習規律を重んじて授業を進めていますか。	10	8	13	31	4	3	3	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	2	先生は毎回、授業の目標、一時間の流れを伝えてくれていますか。	12	9	12	33	1	2	3	6	1	0	1	2	0	0	0	0
	3	先生の問いかけ、指示は短く、わかりやすいですか。	8	7	12	27	4	4	4	12	2	0	0	2	0	0	0	0
	4	板書は「ていねい」でわかりやすくまとめられていますか。	9	9	13	31	4	2	3	9	1	0	0	1	0	0	0	0
	5	自分の意見や考えを持ち、「話し合い」や「発表の機会」の多い授業になっていますか。	10	10	10	30	2	1	5	8	1	0	1	2	1	0	0	1
	6	先生は毎回、授業の「まとめ・振り返り」をしてれていますか。	14	6	6	26	0	4	9	13	0	1	1	2	0	0	0	0
	7	先生は生徒の「考え」や「活動」、「頑張り」を認めていますか。	13	9	9	31	1	2	6	9	0	0	1	1	0	0	0	0
	8	授業で「分かった」「できた」という達成感、満足感がありますか。	7	5	10	22	3	4	5	12	3	1	1	5	1	1	0	2

## (3) 授業改善の方策整理

- 教科別の授業改善の方策を整理し、策定している。

2学期の授業改善案 (1学期の授業改善の反省および生徒による授業評価をもとに)		
	<2学期の重点課題> ①「課題」の設定について ②ペア・グループ活動について	<教科ごとの課題> ○左記以外の各教科の授業改善の反省と生徒による授業評価からの改善策
国語	①文章全体を読んで、深く考えることのできる課題の設定。 ②班編制については、席にこだわらず、メンバーを教師側で決め、定期的に変更していきたい。話し合いの手順もわかりやすく示していきたい。	・漢字テストを増やす。 ・生徒にわかりやすい課題の設定と、授業の流れを示す。
社会	①単元を貫く課題を意識しながら、生徒の視点でより取り組みやすい課題の設定を工夫する。 ②グループ活動の場面での、生徒の役割分担をより明確にし、活発で円滑な話し合いや発表になるよう働きかける。	・2・3年生については、まとめ・振り返りの時間が確保できるよう、授業展開の見直しを図る。 ・授業で扱う資料の精選を図る。

## (4) 授業改善説明会の開催

- 生徒対象の授業改善説明会を開催している。



## (5) 組織的な授業改善の充実

- 共通事項をまとめ、組織的な授業改善を行っている。

学校全体としての取組	
1	9月7日（水）生徒に対する2学期の授業改善説明会を実施する。
2	授業改善の柱 ①学習課題の内容を充実させる。 ・より思考が深まるような少し難しい課題にする。 ・グループでの話し合いが活発化するような課題にする。 ②グループ学習を充実させる。 ・規律を確立する。 ・班編制の在り方を考える。
3	その他 ①個別指導（支援）を充実させる。 ・低学力の生徒への支援 ・意欲の低い生徒への授業中の支援 ②授業、宿題とチャレンジタイムとの関連を強化させる。 ・学力が高まっていると各自が実感できる内容にする。 ・ワークの効果的な活用をする。

## 2. 取組についての評価等

- 全ての教科等で生徒の授業評価を実施することで、各教科等の指導における生徒の意見を踏まえた授業改善に役立てられる
- 各教科等指導の取組の差を縮め、学校全体で（組織的な）授業改善を構築できる
- 授業改善説明会を開催し、教員と生徒が取組方針を共有することにより、ともによりよい授業を創っていくための目的意識が共有できる